



エネルギー先進都市茅ヶ崎を実現するための提案

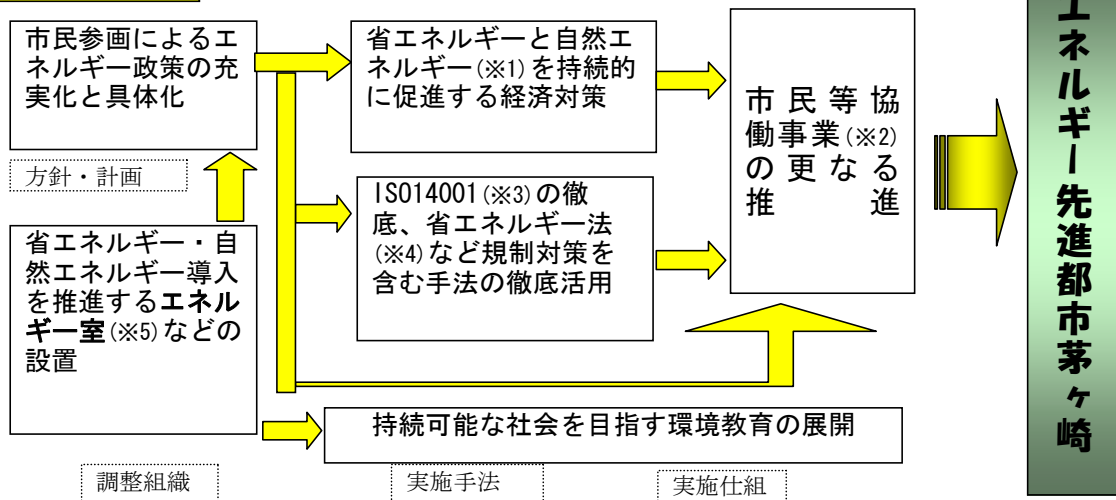
2009年7月 ちがさき自然エネルギーネットワーク (REN)

私たちは1999年の設立時から、一貫して再生可能エネルギーの普及・啓発を目指してきました。

そして、2004年から茅ヶ崎市の持続可能なエネルギーの具体的な政策を提案してまいりました。

本冊子は現時点における提案をまとめたものです。

提案の構成



茅ヶ崎市民活動サポートセンターに市民立太陽光発電所を設置しました！！

※1自然エネルギー：自然エネルギーとは、太陽光や風力など自然現象から得られるエネルギーです。「再生可能エネルギー」ともいわれます。

※2市民等協働事業：市民ニーズに合った新たな公共サービスを展開するために、茅ヶ崎市と市民活動団体(NPO)が協働で活動している事業など。

※3 ISO 14001：ISO(国際標準化機構)が定めた環境マネジメントシステム規格。茅ヶ崎市も2005年3月にこの認証登録をうけ、現在も継続して環境管理に取り組んでいます。

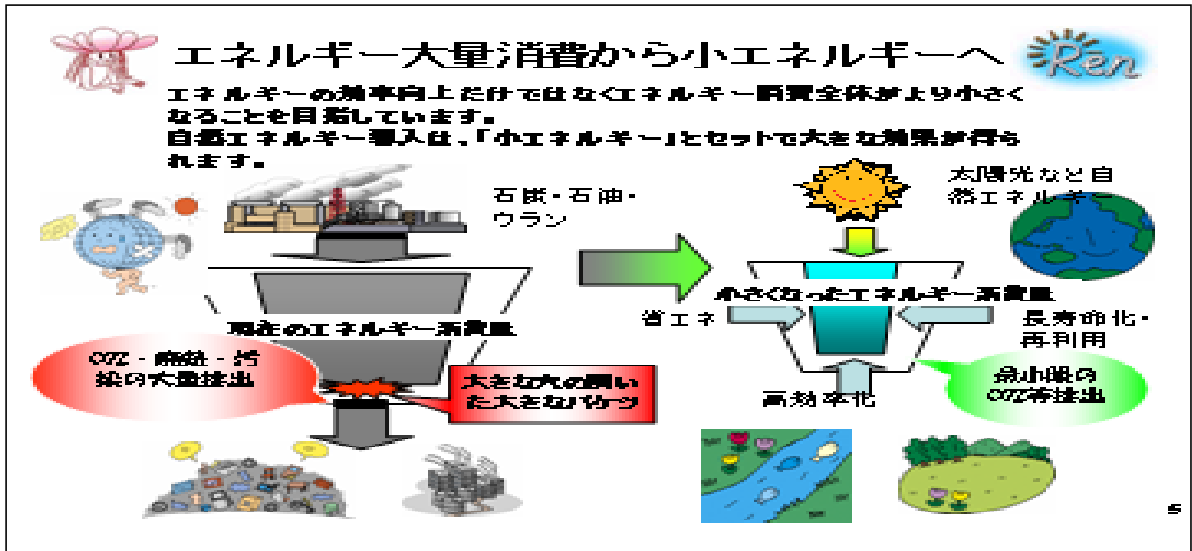
※4省エネルギー法：エネルギーを効率的に使用するため、建築物、運輸、家庭などで省エネを進めるための措置を定めた法律。

※5エネルギー室：エネルギー政策立案と実施計画の総合調整をする事務局。市民、事業者、行政が連携しエネルギー先進都市になるための進捗管理を行います。

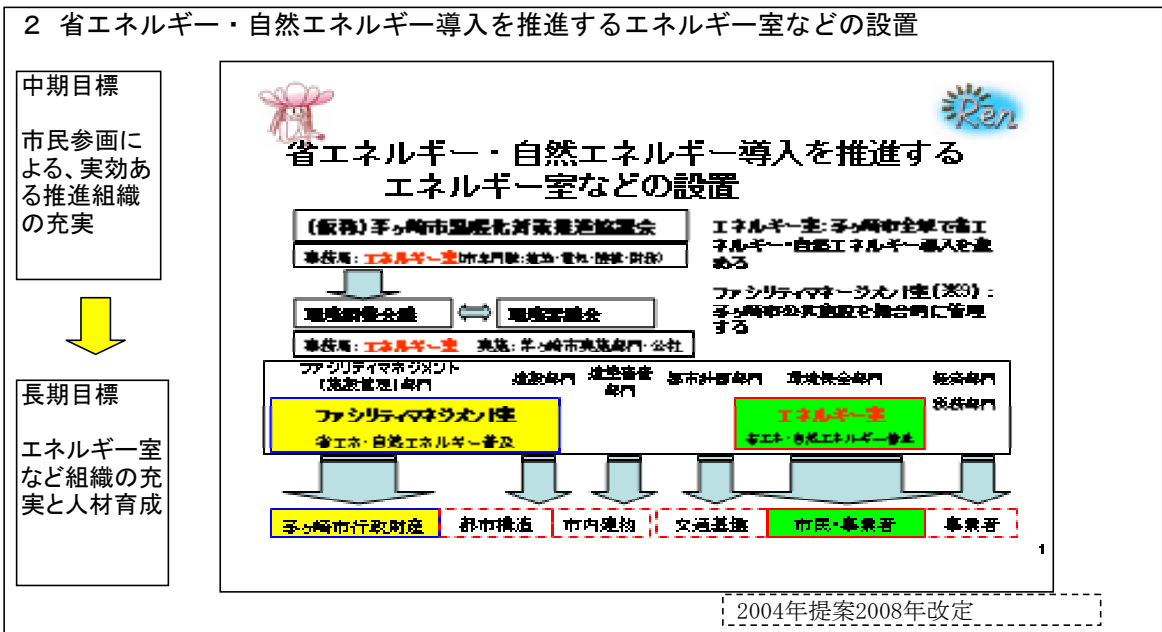
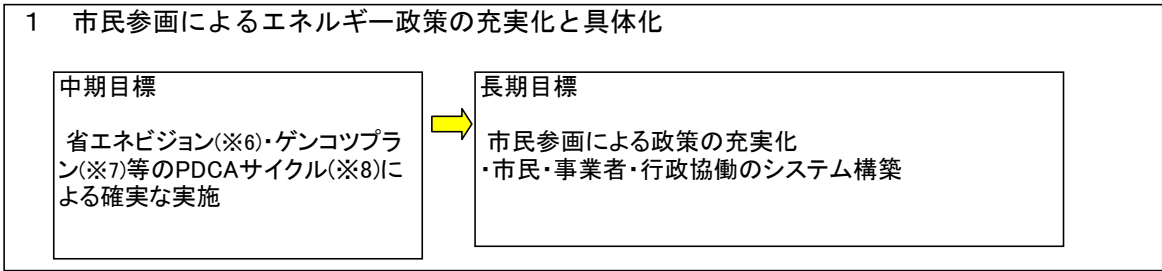
ちがさき自然エネルギーネットワーク (REN) ホームページ

<http://www.i-shimin.net/~ren/>

小エネルギーとは



提案の内容

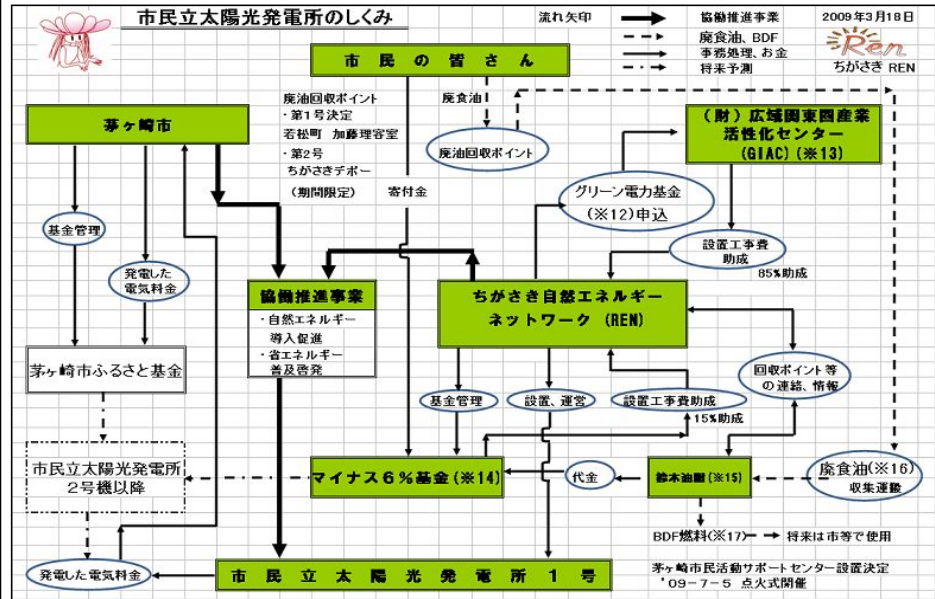


※6省エネビジョン：省エネルギーについて市民、事業者、市が一体となって目指すべき方向性や取り組み、行動を明確に示した計画(「茅ヶ崎市地域省エネルギービジョン」)。
 ※7ゲンコツプラン：2007年3月に策定した「茅ヶ崎市地球温暖化防止実行計画」の愛称。計画の期間は2010年度までの4年間となっています。
 ※8PDCAサイクル：事業活動等において管理業務を計画どおりに進めるためのマネジメントサイクル。PDCAは、Plan(計画)、Do(実施、実行)、Check(点検、評価)、Act(処置、改善)の頭文字。
 ※9ファシリティマネジメント室：ファシリティマネジメント(FM)とは、施設管理のことで、茅ヶ崎市公共施設の計画的保全とともに、省エネルギー等エネルギー政策の計画・実施を行います。

3 市民等協働事業の更なる推進

中期目標

- 1 市民立太陽光発電所の設置、自然エネルギー導入促進と省エネルギー普及啓発事業
- 2 ふるさと基金(※10)の活用
- 3 省エネルギー普及ポータルサイト(※11)の導入



2008年作成追加

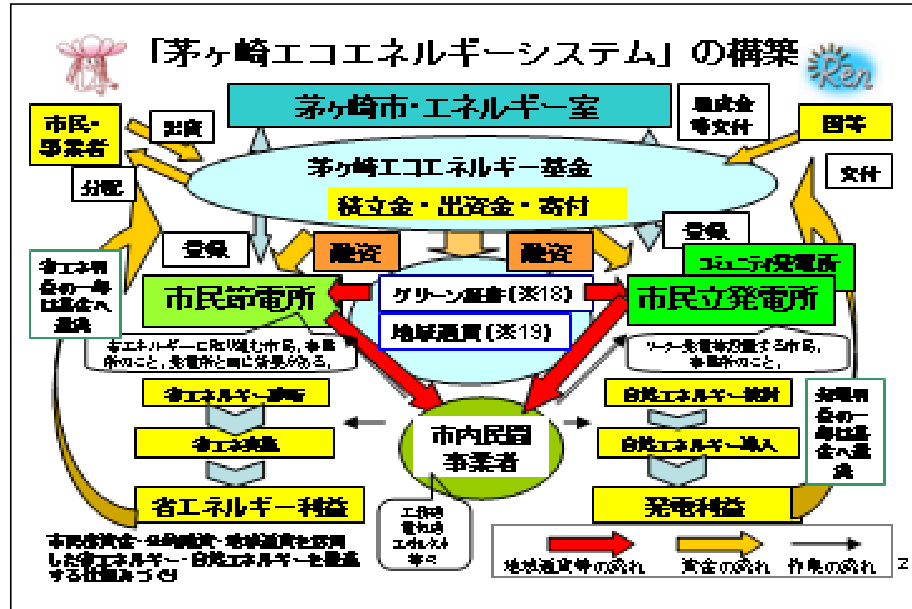
- ※10 ふるさと基金: 茅ヶ崎市が、寄付者の意向に沿った事業に充当するため、寄付金をもとにした基金(特定財源)
- ※11 省エネ普及ポータルサイト: 省エネルギー普及啓発を支援し、情報共有するためのウェブサイト。
- ※12 グリーン電力基金: 自然エネルギー普及のための市民・事業者と東京電力からの寄付による基金。GIACが運用。
- ※13 GIAC: 財団法人広域関東圏産業活性化センター Greater-Kanto Industrial Advancement Centerの略称。
- ※14 マイナス6%基金: 市民活動団体「ちがさき自然エネルギーネットワーク(REN)」が特別会計として管理する基金。この基金に集まったお金は公共施設等への太陽光発電システムの設置などに使われます。
- ※15 鈴木油脂: 神奈川県に本社を置く食用油脂の製造、食材加工及び廃食油回収リサイクル処理を業務とする企業。
- ※16 廃食油: 食品加工用、料理用として使用された食用油脂の使用済み油。
- ※17 BDF: 廃食油から作ったバイオディーゼル燃料で Bio Diesel Fuelの略称。



長期目標

「茅ヶ崎エコエネルギーシステム」の構築

市民出資金・地域通貨・公的融資を活用した省エネルギー・自然エネルギーを推進する仕組みづくり



- ※18 グリーン電力証書: 自然エネルギーにより発電された電気環境付加価値を、取引可能にした証書。証書を購入することで自然エネルギーを使用したと見なされます。
- ※19 地域通貨: モノやサービスの交換のために使える「もうひとつのお金」で、利子はずかず、貯蓄や投機には向きません。市民の手で作ることができ、地域の活性化に役立つとされています。

4 実施手法

(1) 経済対策 省エネルギーと自然エネルギーを持続的に促進する経済対策

中期目標

- 1 太陽光発電支援
太陽光発電導入と維持管理に補助
- 2 マイナス6%基金による
廃食用油BDF化の仕組み構築
- 3 グリーン電力基金助成活用

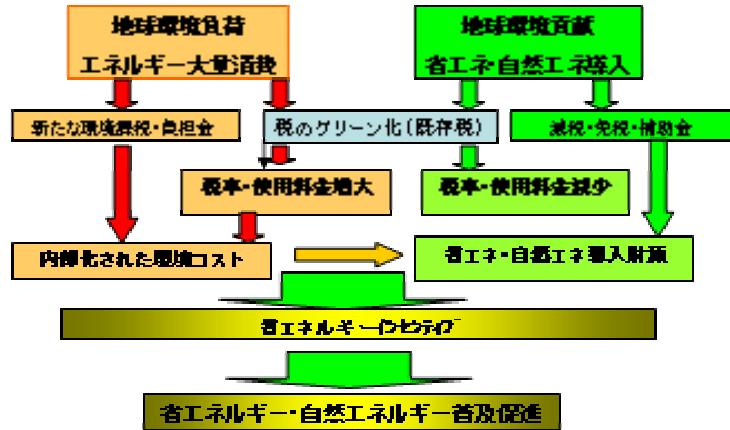


長期目標

- 1 環境・エネルギーについての市民債券、省エネルギー等基金、課税等の活用
- 2 再生可能エネルギー等環境関連企業誘致による経済活性化
- 3 省エネ再生可能エネルギー投資にインセンティブを与える税のグリーン化(※20)
- 4 排出量取引導入(※21)



省エネルギーと自然エネルギー推進の仕組み —経済対策—



2004年提案2008年改定

- ※20 税のグリーン化: エネルギー大量消費者には増税され、省エネルギー等で地球環境に貢献している場合には減税される税の仕組み。
 ※21 排出量取引: 国や企業が目標以上の温室効果ガスの削減に成功した場合や、反対に目標数値に足りなかった場合に、目標の超過分と不足分を市場で取り引きできる仕組み。

(2) 規制対策

ISO14001の徹底、省エネルギー法など規制対策を含む手法の徹底活用

中期目標

- 1 市民参加のISO14001によって確実な推進、改正省エネルギー法の徹底活用
- 2 (仮称)CASBEE茅ヶ崎(建築物環境配慮計画)(※22)導入検討



長期目標

- 1 大口排出源に対する削減義務化
- 2 一定規模以上の建築物に対する再生可能エネルギー導入義務化
- 3 固定価格買取制度(※23)

- ※22 CASBEE(「建築物環境配慮制度」): Comprehensive Assessment System for Building Environmental Efficiencyの頭文字。建築主自身が省エネなど環境配慮の取組を評価し、建築主の自主的な取組を促す制度。
 ※23 固定価格買取制度: 自然エネルギー導入時に余剰電力を電力会社買い取ってもらう際、自治体がかせし、設置コストを短期間で回収できるような価格設定の仕組み。

5 持続可能な社会を目指す環境教育の展開

中期目標

- 1 学校などでの省エネで節約できたお金を当事者に還元するシステムの構築
- 2 出前授業拡大・充実化
- 3 学校でのエネルギーワークショップの実施



長期目標

- 1 ちがさき子供環境会議(※24)(仮称)の構築と展開

- ※24 ちがさき子ども環境会議: 市内の子ども達自らが、市内の環境のあり方を考え、自主的に実践・学習していく組織、団体。